

新型コロナ感染者再増加に伴う学会活動の停止について

日本ことわざ文化学会
会長 渡辺 慎介

人類の歴史は、病気という側面から考えますと、感染症との闘いの歴史であると見ることができます。中世以降の感染症との闘いの歴史には、人の移動が感染拡大に大きな役割を果たしてきた事実があります。たとえば、コロンブスが新大陸を発見した時、トウモロコシやジャガイモが新大陸からヨーロッパに持ち込まれ、それらの植物がそれ以降のヨーロッパやアジアの農業生産に大きな変化をもたらした半面、ヨーロッパの感染症が新大陸に持ち込まれ、免疫を持たない先住民に大打撃を与えたと伝えられています。梅毒は、逆にコロンブス一行によりヨーロッパに持ち込まれたと言います。こうした事実を歴史家は「コロンブス交換」と言うこともあり、あるいは「細菌による世界の統一」と表現することもあります。

今回の新型コロナウイルスによる感染の世界的拡大は、極端に進んだグローバルイゼーションにより、一つの国で発生した感染症が瞬間に世界に蔓延した典型的な例になってしまいました。これをコントロールする指導者はいませんでした。自国の利益のために発言し、行動する政治家はいましたが、国や地域を越えて地球全体のために発言・行動する政治家は一人として出ませんでした。思想の面から、あるいは哲学の面からも世界に指導者を見ることはできません。ただ単に、細菌による世界の統一が実現しただけです。

政治や思想、あるいは哲学の不毛に文句を言うのはここまでです。日本の現実に目を向けましょう。8月初めの段階で、日本では毎日1500人を超える新規感染者が記録され、東京都だけでもその数は500人に達しようとしています。こうした状況を踏まえ、私達の学会が月例会・総会・大会などに会場を拝借しております明治大学が、2021年3月まで教室等施設の外部貸し出し停止を決定いたしました。私たちの学会活動はできないという状況になりました。したがって、9月に予定しておりました総会と月例会、10月の月例会（世界ことわざシンポジウムの縮小版）、および11月の大会における研究発表とシンポジウムを中止または延期せざるを得ない事態になりました。総会などの一部の行事は、メール、あるいは書面により実施する予定ですが、明治大学を会場とする行事は、中止または延期といたします。様々な行事のため準備を頂きました会員の皆様、学会活動を楽しみにしておられます会員の皆様には、大変申し訳ございませんが、現下におけるコロナの状況にご理解いただき、いつまで続くとも知れぬコロナの収束に期待して、学会活動再開をお待ち頂きたいと願っております。

マスク着用、手洗い励行、三密回避などは、感染予防の基本的行動様式です。感染予防のため互いに努力しましょう。そして、再び相見える日を楽しみにしております。

記

1. 第104回月例会の延期。総会はメール、あるいは書面によって実施。
2. 第105回月例会（世界ことわざフォーラム縮小版）の中止。
3. 第11回大会の中止。

以上